

磐城時報

日二廿
印刷所 磐城時報社
印刷部 磐城時報社
電話 一〇〇〇
廣告料 一行十二字五錢
日刊(日曜除) 翌日休刊

石城郡下の酒類商 商業組合を組織

二十五日創立總會

平市並に郡下の酒類商約二千名は石城酒類商組合を組織し二十五日午前十時から市内衆議館に創立總會を開き規約制定、役員選舉、免許申請證明の手續等を協議するがこれは法律の改正に伴ひ營業者は今後政府の免許が必要である三十日迄申告しないものは五百圓以下の罰金に處される事になつてゐる

縣電氣協會總會 勤績者を表彰

植田植電内に開催

縣電氣協會總會は廿二日植電力國家監理を中心とする田町植田水電樓上において座談會を開き午後五時三十分知事代理坂井經濟部長を分りより櫻花眞流りの美登利他臨席開會協會長たる四形福電社長から十三年度豫算十二年度決算の報告あつて次回開催地を決定、ついで幹事、評議員を改選後各種提案の打合せ及び協議し議事を終つて永年勤績の優良従業員表彰式に移り左記八十二名へ西役協會長が賞品を添へて表彰状を授與、

戦死者の 英靈歸る

江南の戦野で戦死した英靈は二十八日原隊に歸還するが石城關係の分左の如し
★鈴木部隊 少尉小野好安(好間) 上等兵鈴木一生(下小川)
★岩淵部隊 上等兵濱野卯吉(好間) 松井銀次郎(好間) 中尉安藤子幸一(好間) 上等兵鈴木久義(神谷) 芳賀義一(貝泊)

除隊將兵の就職 縣當局で斡旋

二十八日平で懇談會

戦線から除隊となる兵士のするが宿舎は飯坂町稻荷屋就職斡旋については職業紹介所でも關心を持つてゐるが積極的斡旋に努力する事となり二十八日午前九時津浦、電工阿久津貞一、植田電力集金部長、津島四男、水陸藩村、七郎、連轉夫武野政雄、工兵藤原吉、大平喜太郎、晴山留之助、齋藤三郎、大平正記、根本篤、黒谷川水力電氣集金部長、須賀川町電氣部石田榮三郎、使丁金子ウツ、島電氣書記補正、技師補小室英太郎、書記大橋安平、工手遠藤信之、技手和田金吉、工手桃末吉、石川義男、書記横山幸助、集金事務員齋藤辰雄、工手阿久津定六、技手佐藤卓吉、集金事務員飯村左衛門、工手田代保、佐藤宮雄、古川清治、鈴木寛司、工長大城松造、雇宇山正明、東信電氣阿賀川出張所事務課長小野里善平、土木課長加藤幸左衛門、技手野口官四郎、雇大勢待信之助、大日本電力郡山事務所所長秋山恵司、書記武藤長助、秋元端謙、松田泰也、技手補浮須光藏、事務手佐々木八重門、電工佐藤藤、木八重門、坂井徳治、安久津勝榮、吉田明、高橋義重、齋藤留七、猪狩要、會田徳治、伊藤正延

平川醫師戀の家出 若い夫人の姪と同道

病む妻を捨て

江名町北町平川醫院院長平川た、すえ夫人には子供がな喜久也(四二)氏は十日程前夫に逃げられた夫人は驚いて八方搜索したが不明な妻(三八)さんを匿すので茨城縣の生家に戻つた平川醫師は千葉縣印旛郡船

徹底した廢物利用 感心する支那人の特長

中支戦線から

前にも話したやうに家屋は三分の二位は破壊されてある、戦闘の必要上破壊したのもあるが大概は友軍が飯や湯を炊くのに薪木がない爲めに家屋の柱や梁を取つて燃すので、日本人から見たら家を燃料にすると言つたら一軒破壊したら一ヶ月位薪物が出るだらうと思はれるかも知れませんが支那の家屋の構造は材木をつかうことが極めて少

方だ、従つて一軒の家を壊しても四五間の長さの丸太十本もあれば收獲がある方である、この調子でいくら大切に薪いても一家の家がやつと三四日の薪物にきりならない。従つて段々家が滅つて來ることになる、然し支那人は日本人のやうに家中でたき火をしない、日本軍が習慣上家に這るとすぐたき火をすると一番困ることは煙むいことだ、煙の出所がないため、たきまらち中一パイになる。目も開かれない、窒息しそである、たまらないが寒いよりは良い、息をこらしながら眠つてしまふ、こんな夜が冬中つづいた、支那人は冬中うして過すのかと思ふと

釜戸以外には決して火はたかぬ、村落の方では炊事場か火をたきこゝに子供や老人が丸まつて火をあつてゐる、市街地では支那特有のあんかんのやうなものに火種を三つ四つ入れてその上に足をあげ手を腕組をして右の手に左の袖へ左の手に右の袖へ入れた日本などに、ある支那人の繪通りにして、ぼんやり腰かけてゐると、何處の家に行つても、なんたら家の中に入つて見ても「かき」のよく出た節の上日本でも考へねばならぬ所であると思ふ。決して木をたかぬ、草や唐モロコシ、綿から、豆から支那人に感心するところは廢物利用である、支

衣類専門に盗む 起訴猶豫中の盜癖少年

原町校で採用試験を行ふ

では平湯本の兩紹介所に男穂村生れ昭和二年東京醫專さんとの間に平川氏は戀を女工の斡旋方を申込んで卒業後江名町に開業して今結ぶに至つたので家庭が平たが二十五日午前十時から

原町校で採用試験を行ふ、男工十六歳以上三十三歳迄八十五錢乃至一圓二十錢、女工十二歳以上三十歳迄五十六錢外に手當

豊間村鹽屋町漁夫(十九)は去る七日江名町北町金成森重氏方漁夫小屋から高橋長次郎さん所有衣類十七点を盗んだ外衣類専門に附近から百三十圓分を失敬し入質消費した事發覺平署に捕はれたが同人は起訴猶豫二回になつてゐる

平町一號四〇、同二號一

米共同販賣

平市に關する税法上の諸申告に

農業者に於ける石城販賣の依米定期共販は廿一日行はれたが出荷左記の如く千六百十三俵であつた

△十九日平第三小學校に夏井、神谷、草野

物品稅協議

平稅務署では去る一日から新

那人はどんなものでも捨てるものは一つもない、例へば豚を食ふにしても、煮湯をかめて毛丈をぬぎ、皮を剥き、肉を食ふ、捨てるものは一つもない、骨も捨てる、これを立派に取つて或は女の裁縫の糸巻にしたり、色々な道して、残つたものは肥料とする、實に徹底したものである、若い娘などは仲々サッパリ立派な格好をしてゐるものもある、が中年後と来たら布切れのついでない着物を着てゐるもの、一人もいない、元の着物は果してどこかまでついでない着物を着てゐるのが珍らしくない

社員募集

◆ 固定給料を支給す
 ◆ 扱ふ保険は優秀、無比断然他社の追随を許しません。
 ◆ 経験なき人には所長が責任を以て懇切に指導致します。
 ◆ 詳細は面談を願ひます。
 平市 鍛冶町

三井生命保険株式會社
平出張所
 電話五〇三番

飲料水業界-卅年-歴史-傳統-持

商店ノ

アイスキャンデー

使用機械ハ世界的ニ名聲ノアル冷凍機械界ノ權威キンシヅク(專賣特許)

◆ 卸部 ◆
 キャンデー製造原料一切

二丁目警察通マルサ第二支店

煉炭

各種 特價販賣

薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經濟燃料トシテ御勵メ致シマス



阿部石炭商店

電話三十七番

魚清自慢の 特製 みつ豆

出前も迅速に致します

始めました

魚清食堂

電話六三三

お惣菜用とつま揚・吉原揚
 平町一丁目
 電話一四一番

産科
 婦人科
 花柳病科

井坂醫院
 平市田町(電話五五九番)

吉田眼科
 平市紺屋町(電話六八番)

看護婦數名入用

耳鼻咽喉科専門

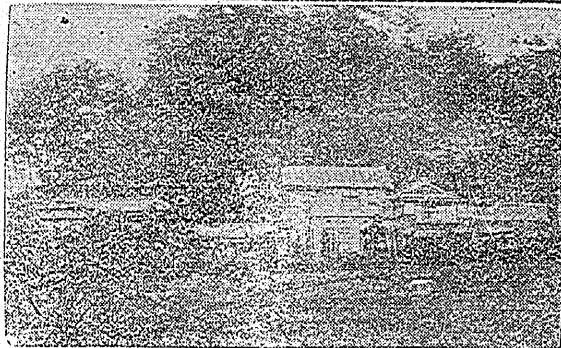
鈴木醫院

醫學士 鈴木 正 男
 平市田町藤田女學校前
 (電話五八番)

院長 木村寅次郎
 醫學博士 内木宗八

藥劑師 大岩俊雄
 平市新川町十九

木村病院
 電話一六四番



常磐線湯本驛
 鐵道指定旅館
 小瀧鑛泉
 電話一〇三番

耳鼻咽喉科

大和田醫院

平市南町(電話一七〇番)
 入院自炊の便あり

金正院送葬の際に遠路御會葬被下有難く御禮申上候旨儀以紙上御挨拶申上候
 四月二十一日 松崎 松治
 外親戚一同

皆様御期待の名畫 東寶 聚樂館
 常設

續 千萬長者
 大日方・夏川・市川・主演
 若い人

鼠小僧の初鯉

老も若きも一度御覽下さい

蓄膿症 根切薬 快鼻湯

本劑は幾多の藥劑ありと雖他藥の及ばざる良藥で、左の病症の方は一時も早く服用され快癒せん事を御奨め致します
 蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症、頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。
 其他鼻骨弯曲並に中耳炎は偉大なる神効ありと賞識されて居ります

快鼻湯製造元 水野藥局
 責任製劑者 藥劑師 水野清一
 電話六九九番

債券 賣買

多田井商店

平市大工町
 電話五九一
 振替仙台一五三九